

研究室名

塩野目剛亮研究室 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名 電子情報通信学会・第110回福祉情報工学研究会（日本音響学会・聴覚研究会連催）

演題名 視覚と聴覚を併用した筋骨格系知識の学習教材の開発

発表者 佐藤零弥, 塩野目剛亮

内容

本稿では、柔道整復師国家試験の合格に必要な不可欠である筋骨格系知識を学習するためのスマートフォンアプリを開発している。提案アプリでは立体音響を使って音声とともに筋骨の名称を覚えたり、3Dモデルで自由な角度から骨格を観察したり、学んだことをクイズ形式や柔整国試の問題を解くことで確認することができる。今後はAR(Augmented Reality:拡張現実)やVR(Virtual Reality:仮想現実)の技術を応用し、よりリアルに学べる環境づくりをすることが課題である。また帝京大学内で使用されているLMS(Learning Management System:学習管理システム)と連携し、授業との連携や教員が学生の学習状況を把握するために使用されることが本研究の目標である。